

田川広域定住自立圏共生ビジョン(案)に対する
パブリックコメントにおいて提出された意見及び対応

意見と対応

No	共生ビジョン案のページ、行など	意見	対応
1	P 1 1. 定住自立圏共生ビジョンについて (1) 定住自立圏共生ビジョンの目的	かわさき広報にあった「定住自立圏構 想とは・・・」の文面の方が私にはわか りやすかった。	意見を参考に修正 (P 2 参照)
2	P 1 1. 定住自立圏共生ビジョンについて (3) 圏域を形成する市町村の名称	(連携の地図を見て) ここが一致団結するんだなと、胸にズ シンときて、いとおしく思いました。	修正なし
3	P 2～P 5 2. 圏域の概況 (1) 圏域市町村の概況	今だかつて見たことがないくらい見や すくて、わかりやすくて、よくぞここま で仕上がったなと感動しました。最高で す。	修正なし
4	P 6～P 2 2 2. 圏域の概況 (2) 人口～(6) 中心市の都市機能 の集積状況	まさかここまでとは…と思うくらい現 実をつきつけられた気がします。だか らこそ、今後、どうしなければいけない のかを真剣に考えさせられました。	修正なし
5	P 7 表【田川圏域の年齢3区分別人口】	生産年齢人口について、15歳～54 歳と記載があるものは、15歳～64歳 の間違いではないか。	意見のとおり修正 (P 3 参照)
6	P 2 3～P 2 4 3. 圏域の将来像	田川の過去と現在と未来について、わ かりやすく説明されていて、大変良いと 思います。	修正なし
7	P 2 5～P 4 5 4. 具体的な取組	視点、分野、取組事項、具体的な取組 と、こと細かな計画は本当に素晴らし く、なおかつ、大変わかりやすいです。 20の具体的な取組の中で一番感動し たのは、産業振興分野の「田川まるごと 博物館事業の推進」です。事業概要の文 面はとても感銘を受けました。タイトル もステキです。 2番目は「将来のリーダー等を養成す る塾の開催」と、「市町村職員の合同研 修の開催」です。なんといっても、案を 練り、ひっばって行こうとする強い意 志をもつ人達が、有言実行しないこと には、何も始まらない。そしてそれは、決 してひとりではできない。田川の活 性化を願う人達がひとりでも多く声 をかけたことが重要かと思われま す。	修正なし
8	P 4 7 5. 資料編 (2) 委員名簿	設置要綱第4条では、会長・副会長を 置くこととなっているので、誰が会 長・副会長だったのか記載したほう がいいと思います。	名簿の備考欄に追記 タイトルを修正 (P 4 参照)

「田川広域定住自立圏共生ビジョン（案）」の新旧対照表

新	旧
<div data-bbox="470 338 1120 539" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>P 1</p> <p>1. 定住自立圏共生ビジョン</p> <p>(1) 定住自立圏共生ビジョンの目的</p> </div> <p>定住自立圏とは、「<u>中心市</u>」と「<u>近隣市町村</u>」が連携して、都市圏への人口流出を防ぐとともに、定住を進めるために形成する圏域です。圏域内の各市町村は、独自性を互いに尊重しながら、連携・役割分担して地域の活性化に向けた取組を推進することで、定住に向けた機能の充実や地域の魅力向上を目指します。</p> <p>本共生ビジョンは、田川圏域における定住自立圏の将来像や、その実現のために圏域市町村が連携して推進する具体的な取組内容を示すものです。</p>	<p>定住自立圏は地方部において三大都市圏と並ぶ人口定住の受け皿として形成される圏域であり、その形成にあたっては一定の機能集積のある都市が「中心市」として近隣自治体と連携しながら、生活機能の確保のための施策を講じるものです。</p> <p>本共生ビジョンは、田川圏域における定住自立圏の将来像や、その実現のために圏域市町村が連携して推進する具体的な取組内容を示すものです。</p>

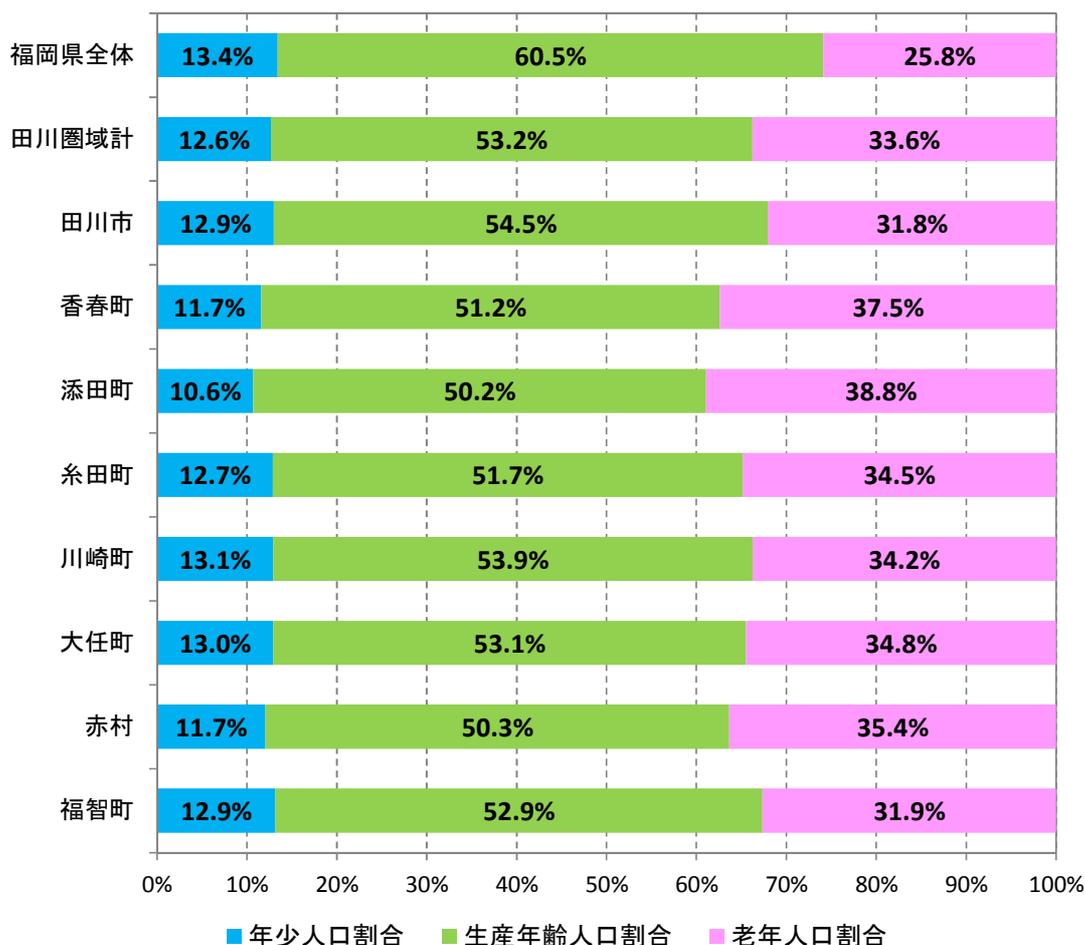
- 平成 27 年国勢調査によると、田川圏域の年齢 3 区分人口割合は、年少人口 12.6%（県全体 13.4%）、高齢化率は 33.6%（県全体 25.8%）と、県全体と比較すると、少子高齢化が進行しています。
- 圏域の市町村別の比較では、高齢化率では田川市 31.8%と比べて、田川郡 7 町村は 34.7%と高く、特に添田町は 40%近くまで達しています。

【田川圏域の年齢 3 区分別人口】

平成27年国勢調査 〔上段:人口数 下段:割合〕	福岡県	筑豊地域	田川圏域計									
			田川市		田川郡計							
					香春町	添田町	糸田町	川崎町	大任町	赤村	福智町	
人口総数	5,101,556人	416,564人	126,104人	48,441人	77,663人	10,861人	9,924人	9,020人	16,789人	5,176人	3,022人	22,871人
	-	-	100.0%	38.4%	61.6%	8.6%	7.9%	7.2%	13.3%	4.1%	2.4%	18.1%
年少人口 (0~14歳)	676,045人	51,902人	15,961人	6,278人	9,683人	1,256人	1,060人	1,159人	2,166人	668人	364人	3,010人
	13.4%	12.5%	12.6%	12.9%	12.4%	11.7%	10.6%	12.7%	13.1%	13.0%	11.7%	12.9%
生産年齢人口 (15~64歳)	3,057,855人	229,737人	67,365人	26,553人	40,812人	5,515人	5,001人	4,710人	8,941人	2,722人	1,560人	12,363人
	60.5%	55.1%	53.2%	54.5%	52.3%	51.2%	50.2%	51.7%	53.9%	53.1%	50.3%	52.9%
老年人口 (65歳~)	1,304,764人	133,320人	42,530人	15,480人	27,050人	4,044人	3,863人	3,142人	5,663人	1,784人	1,098人	7,456人
	25.8%	32.0%	33.6%	31.8%	34.7%	37.5%	38.8%	34.5%	34.2%	34.8%	35.4%	31.9%

(出典:総務省「平成 27 年国勢調査」)

【田川圏域の年齢 3 区分別人口割合】



(2) 田川広域定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

分野	氏名	所属及び役職	備考
学識経験者	松浦 賢長	公立大学法人福岡県立大学 理事	会長
教育	佐藤 博英	田川地区県立学校長会 会長	
医療	百武 宏幸	一般社団法人田川医師会 理事	
福祉	佐々木 陽子	田川地区介護サービス事業所協議会 会長	
観光	奥 昇治	一般社団法人田川広域観光協会 事務局長	
交通	油布 進	九州旅客鉄道株式会社 筑豊篠栗鉄道事業部企画課長	
まちづくり	今村 寿人	公益社団法人田川青年会議所 理事長	
広域連携	新 博司	福岡県 企画・地域振興部広域地域振興課地域企画監	副会長